

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」尾張旭校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 20日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 20日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から保護者からの相談事等に助言を行っている。	支援時や支援の待ち時間に最近の様子を聞くなどして、保護者の負担感や園・家庭での様子の聞き取りを行っている。また、家庭でも実践できるような助言を行っている。	全員の保護者には行き届いていないため、指導員と児発管で連携しながら声掛けを行っていく。
2	利用者1人1人に合わせて臨機応変に支援・対応ができている。	支援の際にどんなことができたか・どんな行動があったか等をミーティング等で日々情報共有していくことで、職員同士で支援の内容の改善や行動の分析や対応について考えている。	日頃から情報共有ができるよう、随時ミーティングや交流を行っていく。また、療育に関しての情報があった場合は随時共有していく。
3	利用者が楽しく支援を受けられるように、指導員との関係性の構築に力を入れている。	全職員が利用者がきらりに行きたいと思って貰えるように心がけて支援を行っている。また、楽しいかつ成長ができるような支援を常に考え、実践している。	特性を熟知して上で、更なる成長に繋げるための支援内容などを職員全員で考え、より良い支援を心がけていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ないため、今後交流ができるようにしていきたい。	支援の準備や情報共有に時間を取られてしまうことが多く、地域での交流についての話し合いができていない。	より効率的に業務を行っていくと同時に、地域で行われているイベントの情報収集を行っていく。
2	事業所が2階にあり、階段には屋根がないため雨天の際は注意が必要になる。	事業所が2階にあるため、事業所内のバリアフリー化は行っても事業所外（2階への階段）のバリアフリー化が難しい。	利用者の行き帰りの際には外の階段にも目を配り、怪我のないよう留意していく。
3	防災・感染などに関して、職員にのみの活動になっている。保護者や利用者を巻き込んで周知に努める。	事業所内に避難経路や避難場所、感染についての周知事項などを掲示しているが、周知には至っていない。	利用者・保護者も参加できるような防災・感染の訓練を検討していく。また、避難経路や防災・感染に関するマニュアルや掲示について周知できるよう随時お伝えをしていく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」尾張旭校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

13

回収数

10

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1		1		2階に事業所があるため、バリアフリー化はできていないのが現状です。今後どのようにしていくか検討していきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8			2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	9	1				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7	1		2	遊びのプログラムが多めに感じる。勉強カリキュラム多めでもいいかな（こうしてほしいという意見ではないのできりさんの考えがあるとは思いますが。）引き続き今のカリキュラムでお願いします。	ご意見ありがとうございます。遊びに見える課題の中でもねらいがあるので、ねらいが何なのかを明確にお伝えできるよう改善していきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	1				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	2	3	なくても良いです。	ご意見ありがとうございます。その時々をニーズを把握しながら検討していきます。
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9			1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	1	4		今後、研修会の開催を検討していきます。また、情報提供も提示の位置を変えるなどして改善していきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8	1		1	子どもの変化や成長している部分をお互いに伝え合っていると思います。	ご意見ありがとうございます。引き続き共通理解が深められるよう支援を行っていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	2			支援中にアドバイスや相談をしてくれてありがたいです。	ご意見ありがとうございます。今後もいつでもご相談いただける環境整えていきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9			1		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。		3	2	5	なくても良いです。	ご意見ありがとうございます。その時々をニーズを把握しながら検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1		1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7			3		周知ができるよう、職員間で方法を検討しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			3		マニュアルについて、再度周知を行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			5		職員間での訓練が多いため、今後利用者様も参加できるような訓練を検討していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			3	まだけをしたことがないので分からない。	ご意見ありがとうございます。今後も怪我無く安心して利用していただけるよう職員一同努めていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	10					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9			1	・日頃から楽しい表現がないため。 ・きらりさん行くよと言うと手を挙げて「はい」と意思を表し、すぐ準備します。	ご意見ありがとうございます。1人1人の好きなことや特性を把握しながら、お子様に寄り添った支援を行っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10				先生方が子どもの様子をみて臨機応変に対応してくださるのでありがたいです。	ご意見をいただき、ありがとうございます。今後も利用者様に寄り添った支援が行えるよう、職員一同努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」尾張旭校		2026 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		1人1部屋利用できるよう調整している。	特に問題なし。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	職員数により利用定員の調整を行っている。	曜日によって不足しているため、もう一人職員がいるとよい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	施設・教室内は分かりやすいよう構造化がされている。	2階にあるため十分なバリアフリー化はできていない。教室内は構造化がされている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日清掃・消毒を行っている。	引き続き清潔な空間になるよう、毎日の清掃を行っていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		ほとんどの支援を個別で行っている。子どもの様子をみながら部屋割りを決めている。	特に問題なし。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		全職員が半年に1回目目標設定・振り返りを行っている。	特に問題なし。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		全職員に共有して話し合いの場を設けている。	特に問題なし。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日頃のコミュニケーションや面談の中で意見を聞き、改善に努めている。	特に問題なし。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		評価表を集計後、職員に共有し意見について反省と改善を話し合い、事業所内に掲示している。	特に問題なし。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		各研修に可能な限り参加し、支援の質の向上とコンプライアンスの周知に努めている。	特に問題なし。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援終了後のフィードバック時に保護者に指導員より説明している。	特に問題なし。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		6ヶ月に1回のモニタリングを行い、保護者の要望、利用者への支援内容を計画書に反映させている。	特に問題なし。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児発管は6ヶ月に1回のモニタリングを行い、保護者の要望、支援内容を職員間で検討しており、計画書に反映させている。	特に問題なし。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員は何時でも個別支援計画書を確認できる環境にあり、計画に沿った支援を行っている。	特に問題なし。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		適時、確認している。	特に問題なし。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		利用者の特性に沿った支援内容、家族支援に基づく保護者や関係機関との連携を図り、必要な項目を計画書に載せている。	特に問題なし。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティング実施時に検討している。	特に問題なし。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		定期的に活動内容を振り返り、発達段階の確認や活動内容の改善を行っている。	特に問題なし。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		○	小集団はイベント時に行っている（通常は個別支援）。	特に問題なし。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○	ミーティング実施時に検討している。指導員の変更等、臨機応変に行っている。	支援時間の関係上毎回は行えていない。時間を調整するなどして改善していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		支援時間の関係上毎回は行えていない。時間を調整するなどして改善していきたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		必ず記録を取り、より良い支援への改善へつなげている。	特に問題なし。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		適切に行われている。	特に問題なし。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		担当者と児発管が参画できるよう調整を行っている。	特に問題なし。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて連携をしている。	特に問題なし。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		関係機関に訪問するなどして、情報共有・相互理解を図っている。	特に問題なし。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		今後、小学校や特別支援級と情報共有を行い、連携を図っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	○		発達支援センターから利用者の紹介を受けており、連携しながら行っている。	県や他研修に参加できるように調整できるように検討していく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			一部の利用者の交流に留まっているため、幅広く交流ができるように改善していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		随時、保護者と相談、話しができる環境を整え、指導員はフィードバック時に説明して理解を得ている。	特に問題なし。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	対象研修があった場合は張り紙を行っている。	今後、対象研修を口頭で保護者に紹介できるように検討していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に行っている。	特に問題なし。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		利用者の意見や様子を指導員より随時確認し、モニタリング時に保護者の要望や意見を確認。計画書に反映させている。	特に問題なし。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		個別支援計画書に確認、同意のサインを頂いている。	特に問題なし。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時、相談の場を設けている。	特に問題なし。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	兄弟児同士での交流はほとんどないが、フィードバック時に兄弟児と職員とで交流を行っている。	現在は行っていない。今後、ニーズがあれば検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		適切に対応できている。	特に問題なし。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		定期的に発信している。	特に問題なし。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		必ず鍵付き書庫に保管をしている。	特に問題なし。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々の特性に合わせて配慮している。	特に問題なし。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	関係機関に訪問するなどして、地域の情報を集めている。	地域の方を招待する機会を設けていないため、地域のシステムなどを理解できるようにしていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルは各項目整備させており毎月、テーマに沿った訓練を実施、周知。議事録に残している。	特に問題なし。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成し、テーマに沿った訓練を毎月行っている。	特に問題なし。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		対象利用者もあり、確認、周知できている。	特に問題なし。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○	食べ物を扱うことがほとんどないが、契約時に確認をしている。	特に問題なし。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		適切に行われている。	特に問題なし。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に避難場所などの周知を行っている。	特に問題なし。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		必用事案があった場合に書類を作成し、職員全員に周知している。	特に問題なし。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		本部より定期的に研修が行われ、適切に対応している。	特に問題なし。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		本部より定期的に研修が行われており、契約時に説明を行ったうえで対象利用者には個別に説明を行っている。	特に問題なし。